



学校教育理念：「**湧**した学校の共創」

教育目標：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成

令和3年7月19日 9号 文責 佐々木 講吉



夏休み特集号

子どもたちがはまっているオンラインゲームの現状！知っていますか？

I オンラインゲームとは？

小学生の間でも没頭してしまうオンラインゲーム。

オンラインゲームは、パソコンやゲーム機（プレイステーション、任天堂スイッチ等）、あるいはスマートフォンをインターネットに繋いでみんなで一緒に遊ぶことができるものです。

主にMMORPG(多人数同時参加型オンラインロールプレイングゲーム)とFPS(ファーストパーソンalシューティングゲーム)の2つに分かれます。

★MMORPG

複数の仲間とチームを組み、モンスターを倒したり、新しい世界を冒険したりするゲーム。

★FPS

架空の戦場を舞台に、銃や武器を使用して敵チームと戦う戦争ゲーム。

今や、誰かの家に集まらなくても、自宅ですることができるようになっています。

夏休みは、親の目を盗んでゲームにはまってしまうことも考えられます。ご家庭でも、十分な話し合いをしてみてください。

II オンラインゲームの4つの問題点

1 睡眠時間への影響

比較的オンラインで遊びやすい夜11時頃～深夜2時頃にゲームが盛り上がるため、睡眠時間が短くなり翌日の生活や学業に影響が出やすくなる点です。

2 チームプレイによってやめられなくなる

チームプレイがほとんどなので、自分一人がゲームを抜けると他の人に迷惑がかかってしまい、そのため勝手にゲームを抜けられずになかなか終わることが出来ない点です。



3 金銭トラブル

ゲーム内でのアイテムや武器の入手にお金がかかるため、親のお金に手を出すようになる点です。特にクレジットカードでの課金の場合は本人の罪悪感は薄くなりがちで、親の知らない間に非常に高額になってくることもあります。

また、お小遣いを使い、コンビニ等でプリペイドカードを購入して課金するケースもあります。



4 サイバー犯罪

オンラインは、友達同士だけでなく、世界中のだれとでもチームを作り仲間になることもできます。仲間と思いきや、怖い犯罪に巻き込まれる点です。

知識として与えておく必要があります。



III 予防法

1 複数人での時間管理

多くの家庭で母親がネットの使用時間を管理しています。しかし、思春期になると本人と母親が対立し、結果的に関係の破たんを招きがちです。そのため、時間管理を母親一人任せにせず、父親や他の大人も積極的にかかわることが大切です。約束を決め、約束を守れないようであれば、持たせないことを薦めます。

2 ネット依存による健康被害の教育をする

ネット依存による不眠や運動不足などの「健康被害」を伝える教育は必要です。学校でも学年に応じた指導をしますが、一人ひとりの認識の差があります。ご家庭で、機器を前にして保護者の責任として予防に努めましょう。

3 心理的な関わり合いが必要

連続使用状態に陥った場合は、心理的な関わり合いが必要となります。ネット依存症の病態は他の依存症と同様、「現実逃避癖」という心理的な問題を抱えています。逃避している問題に焦点を当て、ともに解決していくことが大切です。

＝オンラインゲームの弊害診断基準＝

- ① 1日の生活のほぼすべてが、オンラインゲームである。
- ② 取り上げられるとイライラする、キレる。
- ③ 短時間では満足しなくなっている。
- ④ やめようと思っても止められない。
- ⑤ オンラインゲーム以外にすることがない。
- ⑥ いろんな問題があるとわかっていても止められない。
- ⑦ 隠れてインターネットゲームをしている。
- ⑧ オンラインゲームに逃避してしまう。
- ⑨ オンラインゲームのために学校に行けない、友だちを失った。
- ⑩ オンラインゲームのために家族間の会話が減った。

参考文献： 最新医学 ネット依存症、「健」20193月号、日本学校保健研修社より